

研修医新聞 7月

平成27年7月30日 第57号

東京大学医学部附属病院 桐山真美

あっという間に4カ月が過ぎまして、とうとう東京に戻る時期になりました。

4カ月もいると、散髪などをやってもらうところを探すのも大変です。医者になる前の仕事では、転勤や長期出張が非常に多く、行先ごとに、お店の選定に悩んでおりました。

まあ、悩むほどこだわりはないのですが、うっかり「適当に短くしてください」とオーダーしてしまうと、本当にテキトーに切られてしまう場合もあり、難しいです。トホホ。

東京では低価格につられて、とある大手美容室チェーン店を使用しておりました。そのお店では1年間に3回ほど「ご自分で切られました？」

と問われ、「……いえ、ここの店で切りました」「えっ」

みたいなやりとりがありまして、うーん、今回東京に帰ったらどうしましょう。

阿田和での仕上がりは、右の写真のとおりです(左から二人目)。自分としては、大変満足しております。

最後までとりとめのない小ネタの壁新聞におつきあいくださいました皆様、ありがとうございました！



三重大学医学部附属病院 紅林真理絵

三重大学附属病院研修医2年目 紅林真理絵(くればやしまりえ)です。7月というアツイ時期、アツイ地域研修を内科でさせていただきました。私は、父親が東京、母親が三重出身(松阪)という東京と三重のハーフです。そのせいか、大学時代に三重県が肌にあい、そのまま三重県で育てていただいています。

今月の研修は楽ではなかったですが、本当に楽しかったです。「さあ、今日も始まった。」と思ったら、あっという間に夕方になっているということが多かったです。忙しい日が多かった！大学とは全く異なる医療で、研修スタイルも異なり大変勉強になりました。また、内科の医師数は少ないですが、若いドクターが多く活気があるのも印象的でした。

ところで、休日は観光もさせていただきました。特に、鬼ヶ城には3週連続で行き、行くとたびに違う顔の鬼ヶ城を見られて面白かったです。3週連続行った研修医は今までにいなかったのではないかと思います(笑)。個人的には、しとしと雨の降っているときに神秘的な雰囲気があって好きでした。

指導医のM先生はじめとする先生方、多くの医療スタッフの方に助けいただき充実した1か月間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

